

# 2017年度 決算説明会

## － 2017年度決算および2018年度計画 －

2018年4月26日

富士通フロンテック株式会社

# 1. 2017年度 通期決算概要

# 連結経営成績

【億円】

摘要	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
2017年度	967	39	38	24	100.50円
2016年度	1,112	57	51	37	153.37円
前年度比	△144	△18	△13	△13	
1月公表値	1,000	56	48	34	141.67円
1月公表比	△33	△17	△10	△10	

## ■ 1月公表値に対する増減理由

海外メカコンポーネントや国内金融ビジネス、モバイル端末、表示システムなどの展開時期の延伸による荒利益の減少および売上構成の変化

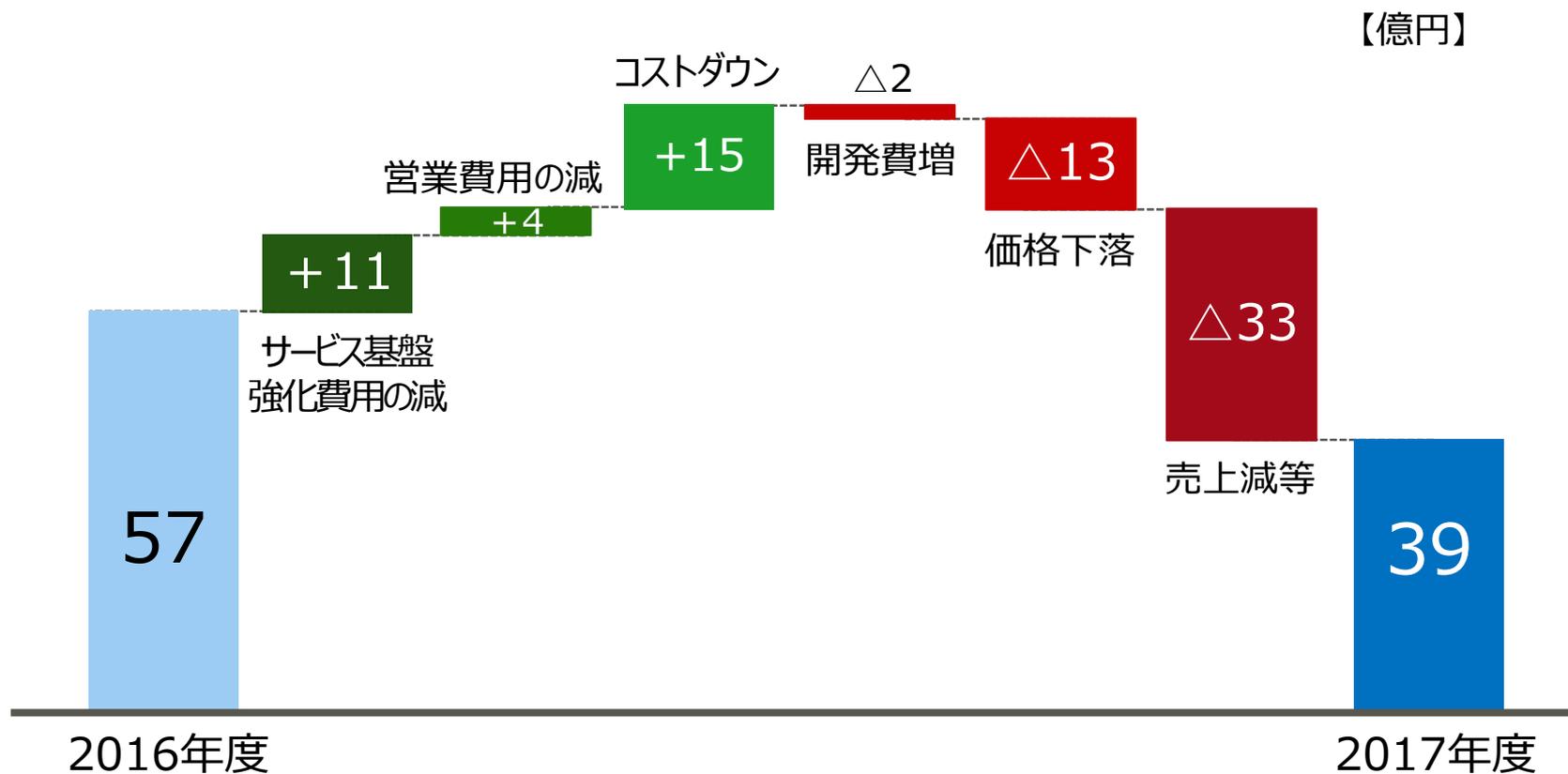
## ■ 海外売上高 【億円】（ ）内は売上高比率

2017年度	232 (23.9%)
2016年度	280 (25.2%)

## ■ 期中平均為替レート (1USD=)

2017年度	111円
2016年度	108円

# 営業利益の主な増減要因

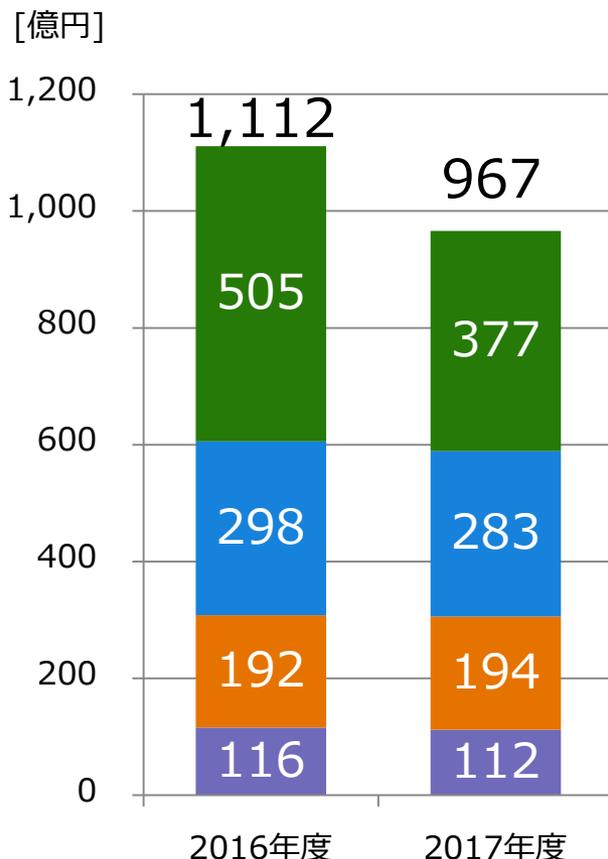


# セグメント別売上高・営業利益

【億円】

摘要	2016年度		2017年度		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
グローバルプロダクト ビジネス	505	29	377	11	△128	△18
サービスインテグレーション ビジネス	298	23	283	27	△15	+5
パブリックソリューション ビジネス	192	18	194	11	+2	△7
フロントソリューション ビジネス	116	3	112	4	△4	+1
その他ビジネス/全社費用 (戦略投資含む)	1	△16	1	△15	±0	+1
計	1,112	57	967	39	△144	△18

# セグメント別売上高（増減要因）



グローバルプロダクトビジネス 377億円 (前年度比△128億円, △25%)

- 小型リサイクルユニットの新機種展開による売上貢献
- 北米流通店舗バックオフィス入金機後継商談の延伸
- ATMおよび国内営業店端末の大口展開一巡

サービスインテグレーションビジネス 283億円 (前年度比△15億円, △5%)

- 現金管理運用サービス、米国RFIDソリューションビジネスの伸長
- ATM、営業店用ソフトウェアパッケージの減少
- 金融向けキッティングサービスの大口展開一巡

パブリックソリューションビジネス 194億円(前年度比+2億円, +1%)

- トータリゼータ端末の新機種展開開始による売上貢献
- 公営競技向け運用サービスの伸長

フロントソリューションビジネス 112億円 (前年度比△4億円, △3%)

- 物流会社向けモバイル端末の増加
- RFIDが国内外で、手のひら静脈認証が海外で伸長
- 国内・アジア向けPOSの商流変更に伴う減少

# 地域別売上高

【億円】

摘要	2016年度	2017年度	増減額
国内	832	736	△96
海外 ( )内は売上高比率	280 (25.2%)	232 (23.9%)	△48
米州	159	107	△52
欧州	76	76	±0
アジア	44	49	+5
(中国)	(30)	(29)	(△1)
その他	1	0	△1
計	1,112	967	△144

# 連結財政状態、キャッシュ・フロー

## ■ 連結財政状態

【億円】

摘要	総資産	負債	純資産	自己資本比率
2017年度	713	252	461	63.9%
2016年度	746	306	440	58.6%
増減額	△33	△54	+21	

## ■ 連結キャッシュ・フロー

【億円】

摘要	営業C/F (A)	投資C/F (B)	フリーC/F (A+B)	財務C/F (C)	C/F (A+B+C)	現金及び 現金同等物の 期末残高
2017年度	81	△48	33	△17	16	203
2016年度	125	△30	95	△17	78	188
増減額	△44	△19	△63	±0	△62	+15

## 2. 2017年度の振り返りと中期戦略

## ■ 海外ビジネス

- セルフチェックアウト/小型ATM/券売機など向けの小型リサイクルユニットを展開
- RFIDソリューションビジネスの拡大に向け、北米にPositek RFID, Inc.を設立
- 欧州現金管理ソリューションビジネス拡大のための体制構築
- 流通店舗現金管理ソリューション向け製品ポートフォリオを拡充

## ■ 国内ビジネス

- 営業店軽量化ソリューションの拡販（地銀を中心に商談活性化）
- クラウド型現金管理運用サービスに立替送金サービスを導入、大型商談獲得
- toto端末、トータリゼータ8次端末の展開を開始
- ICクレジット義務化に対応するマルチ決済ソリューションの開発

## ■ テクノロジー・新規分野

- ビーコンや温度センサーなどIoTセンサーソリューションビジネスを推進
- 手のひら静脈センサーのラインナップ強化、外付け単体の認証装置をリリース
- クラウド型統合認証（手のひら静脈、FIDOなど）ソリューションの企画・開発
- AI応用アルゴリズムを使った紙幣鑑別の性能向上技術開発

- 厳しさを増した国内外ビジネス環境
  - ゼロ金利政策の継続による国内金融機関の経営環境変化
  - 中国などの急速なキャッシュレス化の動き
  - 世界的な大型ATM需要の減少と小型低価格ATMの台頭
  
- ポジティブな変化
  - 人手不足、働き方改革による自動化・省力化の進展
  - 安心・安全を求めるニーズの高まり
  - 国内外での流通店舗現金管理市場の活発化
  - 決済手段の多様化、ICクレジットカード対応の義務化

# 中期基本方針と業績目標

## ■ 基本方針

当社の強みであるテクノロジーとプロダクトをフロント領域でデジタル革新をもたらすコアと位置付け、省力化・自動化、安全・安心といった「コト」からの発想で事業を強化・成長させる。

1) プロダクト/ソリューション/サービスの三位一体でビジネスを推進する

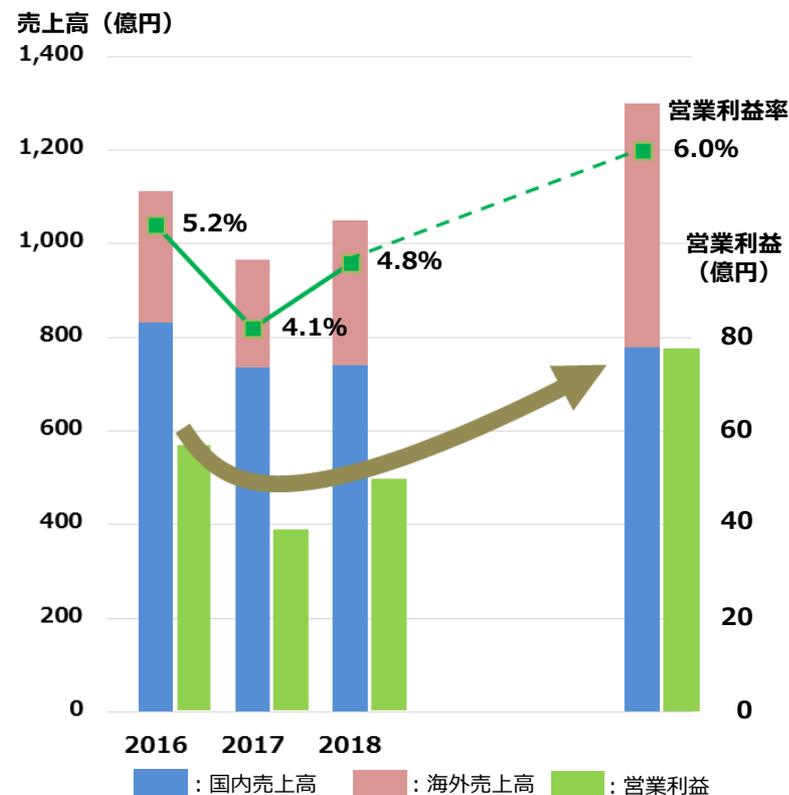
2) ビジネスの枠を拡げる

(業種、グローバル)

3) ビジネス基盤の強化

## ■ 業績目標

	2017年度実績	中期事業目標
連結売上高	967億円	1,300億円
営業利益	39億円	78億円
営業利益率	4.1%	6.0%
海外売上高比率	23.9%	40%



## ■ 7つの重点テーマ

- ① 保有するプロダクト・ソリューションの知見・技術・実績を活かした新規分野への領域拡大
- ② 金融顧客ニーズの変化を先取りした新たな提案とビジネス領域確保
- ③ サービスビジネスの顧客数・領域（業種等）拡大と新たなビジネスモデルの創出
- ④ 流通・公共分野の市場変化と新たな顧客ニーズを先取りしたソリューション・サービス起点でのビジネス拡大
- ⑤ RFID、手のひら静脈認証などユニーク技術をコアとした製品ビジネス拡大とトータルソリューションビジネス化
- ⑥ 海外ビジネスモデルの変革と体制強化による海外売上比率の拡大
- ⑦ グローバル品質・コスト競争力などのビジネス基盤強化

## ■ グローバルプロダクトビジネス

- 北米流通店舗の現金管理ビジネス拡大
- 中国における銀行営業店窓口のスマート化への対応、交通/流通向けビジネス拡大
- 欧州における現金管理ソリューションビジネス立ち上げ
- グローバル装置・ソリューション開発体制および製品ポートフォリオ強化（韓国に新会社設立）
- ATM小型化へ適応するモジュール型小型リサイクルユニットの拡販

## ■ サービスインテグレーションビジネス

- 国内金融機関の省力化・効率化にマッチした店舗軽量化システムの提案
- 立替送金スキームなどクラウド型現金管理運用サービスの拡販
- 海外ソリューションビジネスの拡大（RFID、手のひら静脈、現金運用管理など）  
（北米にグローバルソリューションセンター設置、Positek RFID, Inc.とも連携）
- キーワード認識技術の汎用化。RPAをターゲットとした金融市場以外への展開
- ATMシステム開発のノウハウを活用した現金管理ソリューションの他業種展開（コンタクトポイント）

## ■ パブリックソリューション

- 公営競技向けキャッシュレス投票ソリューションの開発と展開
- 公営競技場包括運用サービスビジネスの拡大
- toto端末の確実な展開と更なるソリューションビジネスの深耕
- 大型映像製品の運用や利活用も視野に入れたシステムソリューションの開発
- クラウド型の中古車せりなどオークションシステムビジネスの拡大

## ■ フロントソリューション

- ICクレジット対応マルチ決済ソリューション・サービスの拡販
- サービス（管理・運用・保守など）と一体にしたモバイルシステムビジネス推進
- RFIDの用途拡大とトータルソリューションビジネス化
- IoTセンサー（ビーコン、センサー付タグなど）ランナップ拡充
- 手のひら静脈認証の精度向上、組み込み用途拡大、外付け認証装置などの周辺製品ビジネス拡大

# グローバルでの取り組み



# 3. 2018年度計画

# 連結業績予想

【億円】

摘要		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
2018年度 計画	上期	477	18	16	11	45.84円
	通期	1,050	50	42	30	125.02円
2017年度 実績	上期	474	19	19	13	55.40円
	通期	967	39	38	24	100.50円
増減額	上期	+3	△1	△3	△2	
	通期	+83	+11	+4	+6	

## ■ 海外売上高 【億円】 ( ) 内は売上高比率

2018年度計画	307 (29.2%)
2017年度実績	232 (23.9%)

## ■ 期中平均為替レート (1USD=)

2018年度想定	105円
2017年度	111円

# セグメント別売上高・営業利益予想

【億円】

摘要	2017年度		2018年度		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
グローバルプロダクト ビジネス	377	11	364	11	△13	±0
サービスインテグレーション ビジネス	283	27	303	29	+20	+2
パブリックソリューション ビジネス	194	11	248	19	+54	+8
フロントソリューション ビジネス	112	4	134	8	+22	+4
その他ビジネス/全社費用 (戦略投資含む)	1	△15	1	△17	±0	△3
計	967	39	1,050	50	+83	+11

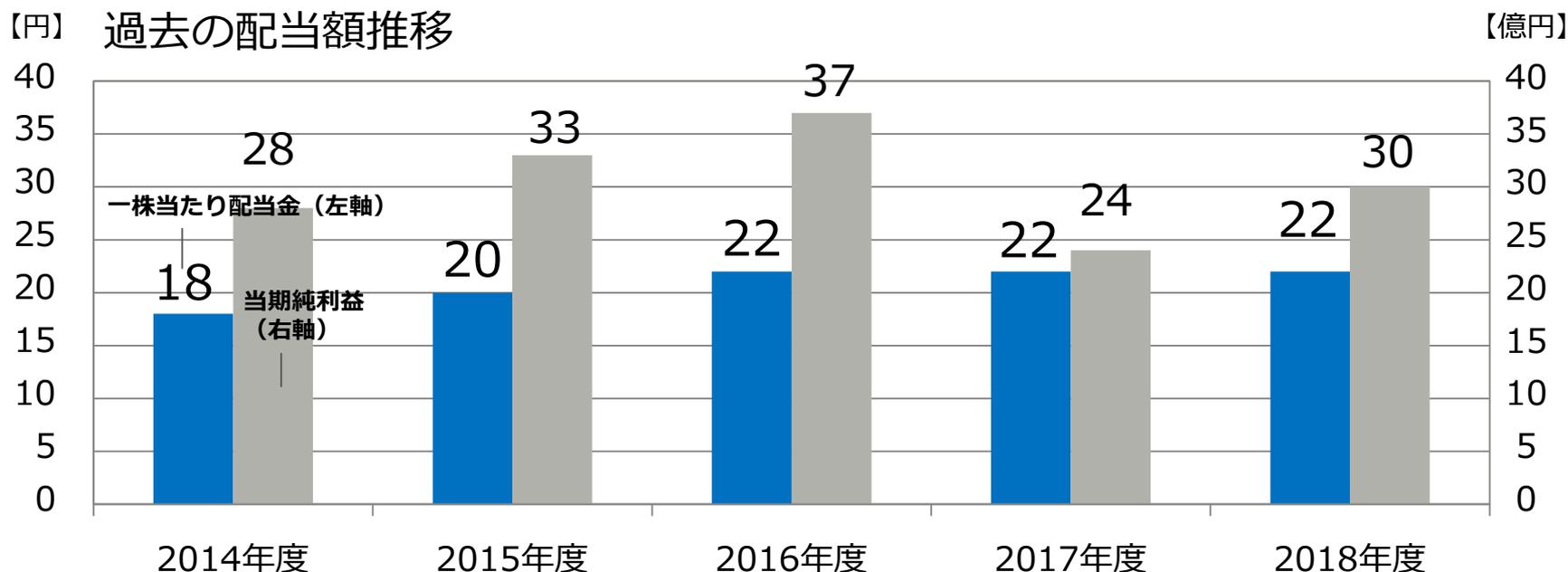
# 地域別売上高予想

【億円】

摘要	2017年度	2018年度	増減額
国内	736	743	+7
海外 ( )内は売上高比率	232 (23.9%)	307 (29.2%)	+75
米州	107	153	+46
欧州	76	73	△3
アジア	49	81	+32
(中国)	(29)	(44)	(+15)
その他	0	0	±0
計	967	1,050	+83

**配当方針：** 安定配当を基本に、各事業年度の利益状況と将来の事業展開を考慮し決定

摘要	中間	期末	年間
2018年度	1.1円計画	1.1円計画	2.2円計画
2017年度	1.1円	1.1円予定	2.2円予定

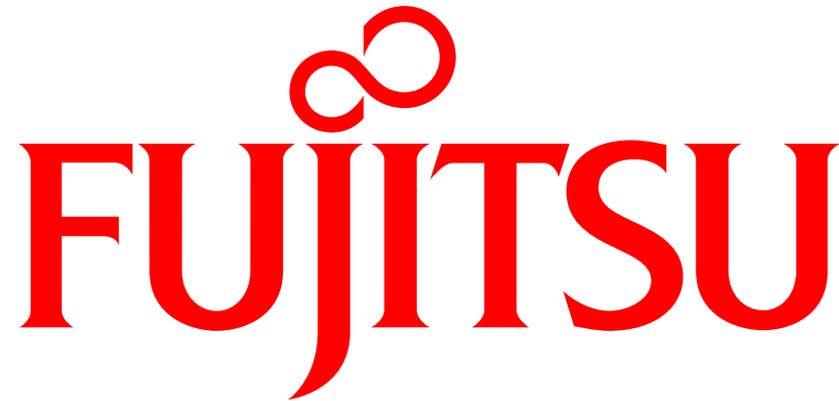


### <見通しに関する注意事項>

- 本資料には、富士通フロンテックが現時点で把握可能な情報から判断した想定などにもとづく将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。
- また、多様なリスクや不確実性（経済動向、関連業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度などがあります）を含んでおります。そのため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。

### <商標について>

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。



shaping tomorrow with you